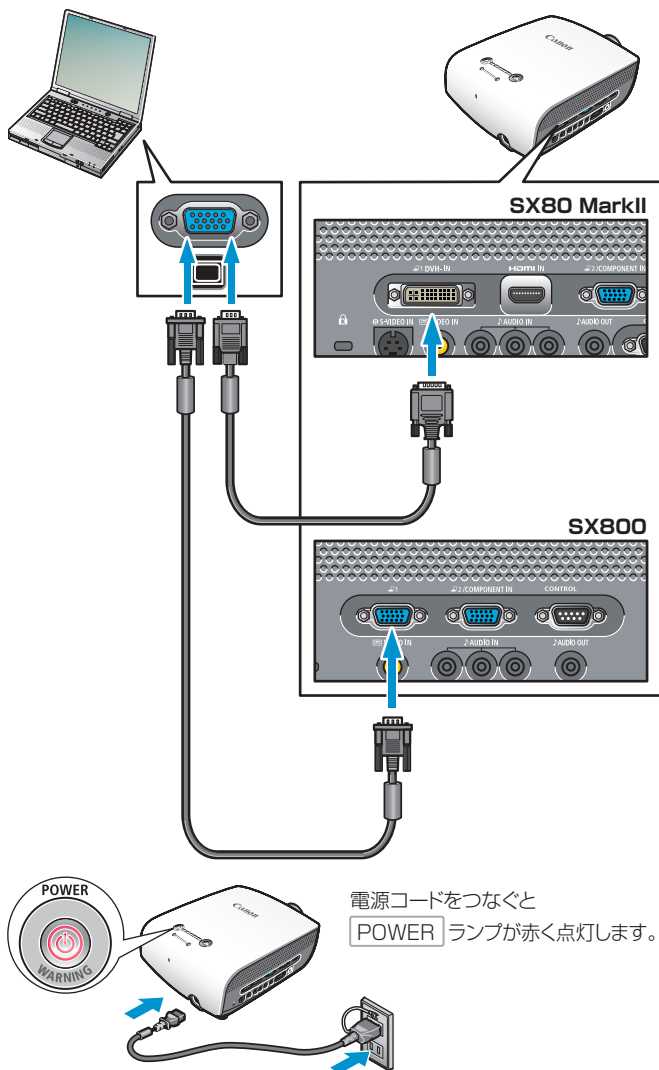


## POWER PROJECTOR SX80 Mark II SX800 クイックスタートガイド

このガイドはパワープロジェクターSX80 MarkII/SX800でノート型コンピューターの画像を投写する基本的な手順を説明しています。プロジェクターは水平なテーブルの上に置いてください。**P\*\***は使用説明書の参照ページです。裏面もあわせてお読みください。

- 1** 付属のコンピューター接続ケーブルと電源コードをつなぎます。 **P34(SX80 MarkII)**、**P35(SX800)**、**P45**



- 2** レンズキャップを外して **POWER** ボタンを押します。 **P45**  
緑の点滅から緑の点灯に変わります。



- 3** コンピューターの電源を入れ、映像信号の出力先をプロジェクターに切り換えます。 **P47**  
コンピューターメーカーによりファンクションキーの割り当てボタンが異なります。

- 4** カウントダウン画面の終了後に **AUTO SET** ボタンを押します。  
入力信号の設定、ピント合わせ(SX80 MarkII)、台形ひずみの補正が自動で行われます。 **P48**

・ SX800は、**FOCUS** ボタンを押し、**▲ ▼ ◀ ▶** ボタンでピントを手動で調整します。 **P55**



**▲ ▼** ボタン: おおまかに調整します。  
**◀ ▶** ボタン: 微調整します。

・ 言語を選ぶ画面が表示されたときは、言語を選んでください。 **P46**  
・ 画面が投写されないときは、**INPUT** ボタンで入力信号 [アナログPC-1] を選んでください。 **P50、P51**

- 5** **AUTO PC** ボタンを押します。

・ プロジェクターが最適な状態に調整されます。 **P53**  
・ コンピューターの表示解像度を最適に設定することをおすすめします。 **P52**

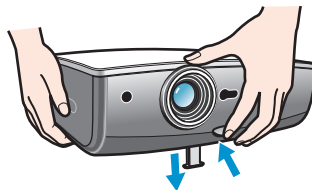
- 6** 画面のサイズと位置を調整します。

**ZOOM** ボタンを押し、**▲ ▼ ◀ ▶** ボタンで画面のサイズを調整します。 **P54**



**▲ ▼** ボタン: おおまかに調整します。  
**◀ ▶** ボタン: 微調整します。

調整脚で画面の高さを調整します。 **P33**



- 7** もう一度 **AUTO SET** ボタンを押します。

・ 画面サイズと位置を調整した後のピント合わせ(SX80 MarkII)と台形ひずみ補正を行います。  
・ ピントと台形ひずみの微調整は手動で行います。 **P55、56**

これで投写までの作業は完了です

リモコンについては、裏面をご覧ください。

## 前ページの作業で操作するボタン

パワー  
**POWER** ボタン P45、P64  
電源を入/切します。

インプット  
**INPUT** ボタン P51  
投写する入力信号を選びます。  
**INPUT** ボタンを押すたびに、入力信号が切り換わります。

フォーカス  
**FOCUS** ボタン P55  
ピントを調整します。  
▲ ▼ ボタン: おおまかに調整します。  
◀ ▶ ボタン: 微調整します。

## プレゼンテーションで使える 便利な機能 P66～69

デジタルズーム  
**D.ZOOM** ボタン P68  
映像の一部を拡大して表示します。

フリーズ  
**FREEZE** ボタン P66  
映像を静止画にします。



オートセット  
**AUTO SET** ボタン P49  
入力信号の設定・台形ひずみの補正(SX80 MarkII, SX800)、ピント合わせ・スクリーン色補正(SX80 MarkII)を自動で行います。

オートピーシー  
**AUTO PC** ボタン P53  
プロジェクターを最適な状態に調整します。

ズーム  
**ZOOM** ボタン P54  
画面サイズを調整します。  
▲ ▼ ボタン: おおまかに調整します。  
◀ ▶ ボタン: 微調整します。

ボリューム  
**VOL** ボタン P67  
音量を調整します。

ミュート  
**MUTE** ボタン P67  
音声を一時的に消します。

ブランク  
**BLANK** ボタン P66  
映像を一時的に消します。

ピータイマー  
**P-TIMER** ボタン P69  
経過時間を表示します。

## プロジェクターをかたづける P64

**1** **POWER** ボタンを押します。  
ガイドメッセージが表示されます。  
もう一度 **POWER** ボタンを押します。  
「緑」の点灯が「赤」の点滅に変わります。

**2** 電源コードおよびコンピューター接続ケーブルを抜きます。

**3** 冷却ファンが止まったら、キャリーバックに収納します。

- 冷却ファンが止まるまでは収納しないでください。
- レンズを保護するため、レンズキャップをはめてください。また、プロジェクターの破損を防ぐため調整脚を戻してください。

